

とこわか運動に参加しよう



三重とこわか国体

第76回国民体育大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021

三重とこわか国体・三重とこわか大会は、県民の皆さんが、「する」「みる」「支える」といった関わりを持つ大会をめざしています。

皆さんの主体的な取り組みを「とこわか運動」として、これに取り組んでいただくグループ・団体・個人を募集しています。

【取り組みの一例】

○ポスターやのぼりなどの広告物を掲示する。

○グリーンアップ活動や花を飾るなど、まちをきれいにする。

○とこわかダンスを踊ったり、デモンストレーションスポーツに参加するなど



【対象者】

「三重とこわか国体・とこわか大会を盛り上げたい」、「来県者のおもてなしをしたい」という人

【参加方法】

申込書に必要事項を記入の上、下記まで。実行委員会ホームページからも申し込めます。

申込者に「ミニのぼり」または「ステッカー」をプレゼントします。

【活動の紹介】

登録された名前、活動内容などをホームページで公表します。

※詳しくは、三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会事務局ホームページをご覧ください。

【申込先・問い合わせ】

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会事務局

(県地域連携部国体・全国障害者スポーツ大会局総務企画課)

〒514-0004

津市栄町1丁目891

三重県吉田山会館1階

☎059-224-2908

FAX059-224-3245

義援金 受け入れ状況



【義援金総額】 ※9月末現在

- 東日本大震災 64,636,890円
- 熊本地震災害 630,773円
- 平成29年7月5日からの大雨災害 52,062円
- バングラデシュ南部避難民 55,496円
- 平成30年7月豪雨災害 296,002円
- 令和元年台風第19号災害 146,627円
- 令和2年7月豪雨災害 269,105円

※お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて、支援を必要とする方々にお届けします。

【義援金箱の設置場所】

- 本庁舎 1階ロビー
- 各支所 (上野支所を除く。)

【問い合わせ】

医療福祉政策課

☎26-3940 FAX22-9673

さまざま広場 グッドデザイン賞受賞



さまざま広場が、国内外の優れたデザインや仕組みに対して贈られる、グッドデザイン賞を受賞しました。

同賞は(公財)日本デザイン振興会が主催するもので、45の国と地域から応募が集まる国際的なデザイン賞です。

工業製品や建築物、ビジネスモデルやイベント活動など幅広い分野を対象としており、さまざま広場は20ある部門のうち公共建築・土木・景観部門での受賞となりました。

【問い合わせ】 中心市街地推進課

☎22-9825 FAX22-9628



GOOD DESIGN



2次元コードから詳しい情報が見られます。

同和施策審議会委員募集



同和問題の解決を図るために必要な事項について、調査・審議していただける委員を募集します。

【募集人数】 1人

【応募資格】

- 次の条件をすべて満たす人
- 市内在住で満20歳以上の人
- 市が設置する他の審議会・その他の市の附属機関の委員でない人
- ※市議会議員・市職員は除く。

【開催回数】

年2～4回程度(平日の昼間)

【任期】

令和3年2月1日～令和5年1月31日

【報酬】 6,000円/日

※市の規定に基づく。

【応募方法】 同和問題の解決を図るための提言や自分の役割などを、400字以上800字以内(様式は自由)にまとめ、住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別・電話番号を記入の上、下記まで。

【選考方法】

作文審査・面接(面接の日程などは、後日お知らせします。)

委員の構成比率などを考慮して決定し、選考結果を本人に通知します。

【応募期限】 12月4日(金) ※必着

【応募先・問い合わせ】 同和課

☎22-9689 FAX22-9684

✉douwa@city.iga.lg.jp

「丑の春展」絵馬募集



令和3年1月4日(月)から7日(木)まで開催する「丑の春展」に展示する絵馬を募集します。

【対象者】

市内在住・在勤の中学生以上の人

【応募期間】

11月2日(月)～12月11日(金)

【応募方法】

新年の干支(丑)にちなんだ絵馬を作成し、下記まで持参。

出品点数:1人1点

※自作に限ります。

※板は上野公民館で配布します。

【応募先・問い合わせ】

上野公民館

☎22-9679 FAX22-9692

※申し込みの記載がないものは申し込み不要です。

健康・福祉

子育て・教育

イベント・講座

お知らせ

地域活動支援事業補助金募集



個性的で魅力あふれる地域づくりを推進するため、市民公益団体が令和3年度に実施する事業について、市がその経費の一部を補助します。

市民活動に興味をお持ちの皆さんの応募をお待ちしています。

【補助内容】

○基礎支援

団体の立ち上げや団体の基盤確立が見込める事業

○課題発見支援

団体が事業や運営方法を振り返り、その課題解決を図る事業

○協働促進支援

- 市が定めたテーマに沿って、市と団体が協働して実施する事業
テーマ：消えゆく校歌の収集編さん事業
- さまざまな主体が協働して地域課題などを解決しようとする事業

※交付の条件や補助率など詳しくは市ホームページをご覧ください。

【応募期間】 11月16日(月)～令和3年1月8日(金)

【応募先・問い合わせ】

地域づくり推進課

☎ 22-9639 FAX 22-9694

特別弔慰金の申請説明会を中止します



令和2年4月1日時点で公務扶助料や遺族年金等の受給者（戦没者の妻や父母など）がいない場合、戦没者のご遺族へ額面25万円、5年償還の記名国債が支給されます。

この申請手続きについて、当初5月から9月にかけて各地区で説明会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、延期しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症が終息する見込みがないことから、延期とした説明会を中止します。

申請は、本庁医療福祉政策課、各支所住民福祉課で随時受付けています。来庁が難しい人はお問い合わせください。

【申請期限】 令和5年3月31日

【問い合わせ】 医療福祉政策課

☎ 26-3940 FAX 22-9673

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間



夫やパートナーからの暴力、職場におけるセクシャル・ハラスメント、ストーカー行為といった女性をめぐるさまざまな人権問題について、法務局職員または人権擁護委員が電話で相談をお受けします。

相談は無料で秘密は厳守します。

【と き】

11月12日(休)～18日(休)

午前8時30分～午後7時

※土・日曜日は午前10時～午後5時（土・日曜日の電話相談は、名古屋法務局の担当者が対応します。）

【相談番号】

☎ 0570-070-810（全国共通）

【問い合わせ】

津地方法務局人権擁護課

☎ 059-228-4193

FAX 059-213-3319

名阪国道リフレッシュ工事



【と き】

11月24日(火)午前9時～12月11日(金)午後5時

※天候などにより日時が変更となる場合があります

【ところ】 名阪国道大阪方面(下り) 治田IC～神野口IC

※工事期間中は土・日曜日も含め、終日1車線規制

【問い合わせ】

○国土交通省中部地方整備局北勢国道事務所

☎ 0595-82-3937

○名阪国道テレフォンインフォメーション

☎ 0595-82-3939

○企画管理課

☎ 22-9723 FAX 22-9724

お薬手帳を1冊にまとめましょう

お薬手帳

飲んでいる薬や治療歴の管理ができて安心

複数のお薬手帳を持っている人は、1冊にまとめて適切な管理を行きましょう。

【問い合わせ】 医療福祉政策課

☎ 22-9705 FAX 22-9673

介護有資格者再チャレンジ研修



介護の職に就くことに不安がある人や、もう一度「介護の基本」を学び直したいと考えている人に、福祉・介護の現場で活躍していただけるよう、介護の知識や技術のスキルアップができるウェブ研修です。

【受講方法】

配布するテキストを使い、講義動画を視聴し、各科目修了後にレポートを提出する。

【対象】

介護などの資格を持ち、現在福祉・介護の仕事をしていない人または介護職として就職または復帰後、おおむね1年未満の人

【内容】 講習 6科目 10時間

(受講期間2週間)

介護保険制度の動向、認知症ケア、老化の理解とリスクマネジメントなど

【期間】

受講開始希望日から令和3年2月26日(金)までの間の2週間

※受付締め切りは令和3年2月5日(金)

【定員】 先着150人

【その他】

受講にはインターネットに接続したパソコン、タブレットなどが必要です。(通信費は受講者負担)

※インターネットの環境がない人はご相談ください。

現在介護の仕事をしていない人は、施設体験(2日間)にも参加できます。

希望者には就労支援を行います。

【申込先・問い合わせ】

(福)三重県社会福祉協議会

三重県福祉人材センター

☎ 059-227-5160

(平日9:00～17:00)

＼31ページの答え／

③ 31 軒

上野の和傘は藤堂藩下級武士の内職として始まったとされています。明治以降も家内産業として興隆し、大正8年(1919)に伊賀傘株式会社が組織され、岐阜に次ぐ生産量を誇りました。

※設問と回答は「伊賀学検定370問ドリル」(上野商工会議所発行・伊賀学検定実施委員会編集)から抜粋